

# 空間内の直線・平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L05(2023-04-26 Wed)

最終更新: Time-stamp: "2023-04-26 Wed 07:18 JST hig"

## 今日の目標

- 平面上・空間内の直線のパラメタ表示を説明できる
- 法線ベクトルを用いた空間内の平面の方程式が説明できる



## L04-Q1

Quiz 解答: ベクトルの射影

東向き単位ベクトルは  $\frac{1}{\sqrt{37}} \begin{bmatrix} -6 \\ -1 \end{bmatrix}$ .ペンギンの移動のベクトル  $\begin{bmatrix} 4 \\ 2 \end{bmatrix}$  の, 東向きへのスカラー射影を求めて,  
 $\frac{-26}{\sqrt{37}}$ .

## L04-Q2

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示

パラメタ表示は

$$\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix} \quad (t \in \mathbb{R} \text{はパラメタ})$$

## L04-Q3

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示

 $\boldsymbol{a} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix}$ ,  $\boldsymbol{c} = \begin{bmatrix} 1 \\ 8 \end{bmatrix}$  とする.

- ①  $\boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$  となる  $t$  が存在しないので, 直線上にない.

- ②  $at + c = \begin{bmatrix} 5 \\ 29 \end{bmatrix}$  となる  $t$  が存在しないので、直線上にない.
- ③  $t = 2$  とすると、 $at + c = \begin{bmatrix} 5 \\ 18 \end{bmatrix}$  となるので、直線上にある.

## L04-Q4

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示

方程式は,

$$\left(\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix}\right) \cdot \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix} = 0$$

すなわち,

$$3x + y - 22 = 0$$

## L04-Q5

Quiz 解答: 直線の方程式と点

- ① 代入すると方程式が満たされないので、直線上にない.
- ② 代入すると方程式が満たされるので、直線上にある.

## L04-Q6

## Quiz 解答: 直線のパラメタ表示と方程式

- ① 接線ベクトルが  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \end{bmatrix}$ . これと直交する法線ベクトル  $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} n_1 \\ n_2 \end{bmatrix}$  を  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{n} = 0$  を解いて求めると, 例えば  $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix}$  は法線ベクトル. よってベクトル方程式は

$$\left( \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} 8 \\ 11 \end{bmatrix} \right) \cdot \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} = 0.$$

- ② 法線ベクトルは  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 5 \\ -2 \end{bmatrix}$ . これと直交する接線ベクトル  $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix}$  を  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{n} = 0$  を解いて求めると, 例えば  $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix}$  は接線ベクトル. また, 点  $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}$  は直線上にあることがわかる. よってパラメタ表示は

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix} \quad (t \in \mathbb{R}).$$

## 平面上の直線の接線ベクトルと法線ベクトルの関係

直線と垂直なベクトル (1 つとは限らない,  $\neq \mathbf{0}$ ) を, 直線の法 (線) ベクトル, **normal vector** という. 直線の向き  $\mathbf{a}$  を  $\pm\frac{\pi}{2}$  回転して得られる.  
助変数, 媒介変数 = **パラメタ (parameter)**, 媒介変数表示 = パラメタ表示

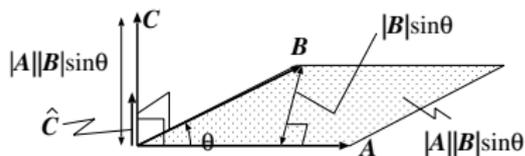


## 外積の直観的意味

$\mathbf{a} \times \mathbf{b} =$   $\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  のはる平行四辺形の面積と向き

$\mathbf{a}$  と  $\mathbf{b}$  で張った漁業用網の効率を伝えるもの

- 2本の棒  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  を使って網を張るような感じ.
- 網の正対する向きが  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  の向き. (表裏あり)
- 網の面積, つまり 平行四辺形の面積 が  $|\mathbf{c}| = |\mathbf{a} \times \mathbf{b}|$ . 2本の棒が  
違う方向を向いてるほうがたくさん魚がとれる.
- フレミングの左手の法則とか, これで簡単に書ける.  $\mathbf{F} = \mathbf{I} \times \mathbf{B}$ .



## 空間内または平面内の直線のパラメタ表示

$c$  を通り,  $a$  に平行な直線のパラメタ表示 加藤 線形代数 p.183

$a \neq 0$ .

$$x - c = at$$

すなわち  $x = at + c$  ( $t \in \mathbb{R}$  はパラメタ)

- チェック 1  $c$  を通る
- チェック 2  $a$  に平行である

GeoGebra(動的幾何ソフトウェア)

2D

<https://www.geogebra.org/m/skj88vSN>

3D

<https://www.geogebra.org/m/KYg7AZ7M>



## ここまで来たよ

④ 平面上の直線のパラメタ表示・ベクトル方程式

⑤ 空間内の直線・平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

- 空間内の平面のパラメタ表示とベクトル方程式

## (空間内の) 平面のパラメタ表示

$c$  を通り,  $a, b$  に平行な平面のパラメタ表示 加藤 線形代数 p.184

$$x - c = at + bs$$

$$\text{すなわち } x = at + bs + c \quad (t, s \in \mathbb{R} \text{ はパラメタ})$$

$a, b \neq 0, a, b$  は平行でない.

<https://www.geogebra.org/m/YHmGKuJN>



## L05-Q1

## Quiz(平面のパラメタ表示とベクトル方程式)

$c = \begin{bmatrix} 13 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$  を通り, ベクトル  $a = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$ ,  $b = \begin{bmatrix} 0 \\ 5 \\ 2 \end{bmatrix}$  に平行な平面を考える.

- ① パラメタ表示を求めよう
- ② ベクトル方程式を求めよう
- ③ 点  $\begin{bmatrix} 13 \\ 9 \\ 9 \end{bmatrix}$ ,  $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$  はそれぞれ平面に含まれるか, パラメタ表示から調べよう.
- ④ 点  $\begin{bmatrix} 13 \\ 9 \\ 9 \end{bmatrix}$ ,  $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$  はそれぞれ平面に含まれるか, ベクトル方程式から調べよう.





## (空間内の) 平面の方程式

平面と垂直なベクトル (1つとは限らない,  $\neq \mathbf{0}$ ) を, 平面の法 (線) ベクトル **normal vector** という. 平面に平行な (しかし互いに平行ではない) 2つのベクトル  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  が与えられたとき, 外積  $\mathbf{n} = \mathbf{a} \times \mathbf{b}$  で得られる.

$\mathbf{c}$  を通り,  $\mathbf{n} (\neq \mathbf{0})$  に垂直な平面の方程式 加藤 線形代数 p.184

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

$\mathbf{c} \cdot \mathbf{n} = C$  とおくと,

$$\mathbf{x} \cdot \mathbf{n} = C$$

$\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a \\ b \\ c \end{bmatrix}$  としてこの方程式を成分で書くと,

$$ax + by + cz = C.$$

2D

<https://www.geogebra.org/m/bxNHWG6P>

3D

<https://www.geogebra.org/m/v2TedmJ2>



## L05-Q2

## Quiz(平面の方程式)

- ① 単位法線ベクトルが  $\boldsymbol{n} = \frac{1}{\sqrt{14}} \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}$  であり, 点  $\boldsymbol{r}_0 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$  を通る平面の方程式を求めよう.
- ② 単位法線ベクトルが  $\boldsymbol{n} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$  であり, 点  $\boldsymbol{r}_0 = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ -4 \end{bmatrix}$  を通る平面の方程式を求めよう.

## 直線を境界とする半平面の式

直線

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

は平面を 2 つの半平面に分割する. 各半平面は不等式で指定される.

$$\mathbf{n} \text{ と同じ側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} > 0$$

$$\mathbf{n} \text{ と逆の側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} < 0$$

mobius L04.2

## L05-Q3

## Quiz(半平面のパラメタ表示)

$c = \begin{bmatrix} 4 \\ 3 \end{bmatrix}$  を通り, ベクトル  $a = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix}$  に平行な直線を考える.

- ① ベクトル方程式を求めよう
- ② 点  $\begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 4 \\ 5 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} -5 \\ 0 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 6 \\ 4 \end{bmatrix}$ , がそれぞれ, ( $y$  軸の正の向きを上と思ったとき) 直線の上側, 下側, 直線上にあるか答えよう.



## 平面を境界とする半空間の式

平面

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

は空間を 2 つの半空間に分割する. 各半空間は不等式で指定される.

$$\mathbf{n} \text{ と同じ側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} > 0$$

$$\mathbf{n} \text{ と逆の側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} < 0$$

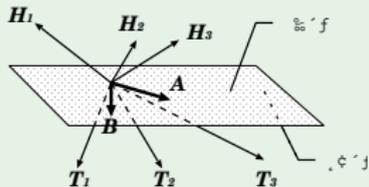
mobius L05.2

平面の中の直線, 空間の中の平面が同じ式で扱えることに気づいたろう. これは, どちらも 1 次元減った, 1 次式で書ける集合 (超平面という) だという共通点があるから.

## L05-Q4

## Quiz(空間内の平面の分ける半空間)

ベクトル  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} +1 \\ -2 \\ 0 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{bmatrix}$  とする.



- ①  $|\mathbf{b}|$  を求めよう.
- ②  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  を求めよう.
- ③  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  を求めよう.
- ④  $\mathbf{b} \times (\mathbf{b} - 2\mathbf{a})$  を求めよう.
- ⑤ 原点  $\mathbf{0}$  を通り, ベクトル  $\mathbf{a}, \mathbf{b}$  の両方がのる平面は 1 つに定まる. (図では薄く塗られている. それは  $xy$  平面とは異なる). 図は, その平面を斜めから見たものである. ベクトルがこの平面の表裏どちら側を向いているかについて,  $\mathbf{H}_1, \mathbf{H}_2, \mathbf{H}_3$  のようなベクトルを表向き,  $\mathbf{T}_1, \mathbf{T}_2, \mathbf{T}_3$  のようなベクトルを裏向きということにする.  $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} 0 \\ 6 \\ 1 \end{bmatrix}$  が表向きか裏向きか考えよう.